

学部 / 看護専門領域 / 健康・疾病・障害の理解科
目コード:130010

人間病態学(病気の成り立ち) Human Pathology

| | | | | | |
|---------------|--|-----|----|------|----|
| 担当教員 | 今井 美和 | | | | |
| 実務経験 | 病院勤務経験のある教員が担当 | | | | |
| 開講年次 | 1年次後期 | 単位数 | 2 | 授業形態 | 講義 |
| 必修・選択 | 必修 | 時間数 | 30 | | |
| Keywords | 病理、病因、微生物、感染、予防、細菌、ウイルス、真菌、原虫、細胞傷害、免疫、炎症、創傷治癒、循環障害、先天異常、腫瘍 | | | | |
| 学習目的・目標 | 目的:疾患の成り立ちを理解するうえで重要な基本的病変、生体防御機構、病原微生物の基礎的事項について学ぶ。 目標:病理学および微生物学の専門用語を説明できる。 | | | | |
| 授業計画・内容 | | | | | |
| 回 | 内容 | | | | |
| 1 | オリエンテーション 病理学概論:疾病の分類 病因:内因、外因 | | | | |
| 2-5 | 微生物学総論: 生物の分類、細胞内寄生体、歴史、感染、感染症、伝染病、 感染源、感染経路、宿主、宿主-寄生体関係、常在微生物叢、媒介動物、 新興感染症、再興感染症、人獣共通感染症、日和見感染、菌交代症、院内感染、食中毒、性感染症、輸入感染症 微生物の特徴:形態、分類、増殖 細菌:グラム陽性菌、グラム陰性菌、マイコプラズマ、リケッチア、クラミジア ウイルス:DNAウイルス、RNAウイルス プリオン 真菌:接合菌類、子嚢菌類、担子菌類、不完全菌類 原虫:アメーバ類、鞭毛虫類、繊毛虫類、孢子虫類 感染症の予防、化学療法、薬剤耐性 | | | | |
| 6 | 細胞傷害: 萎縮、肥大、過形成、化生、変性、壊死、アポトーシス | | | | |
| 7-9 | 免疫: MHC、HLA、自然免疫、獲得免疫、免疫担当細胞、サイトカイン、抗原、抗体、抗原認識、補体、 免疫応答、細胞性免疫、液性免疫 炎症: 徴候、炎症に関わる細胞、炎症反応、急性炎症、慢性炎症、肉芽腫性炎 創傷治癒: 再生、肉芽組織、瘢痕 | | | | |
| 10-11 | 循環障害: 水腫(浮腫)、虚血、充血、うっ血、出血、止血、血栓症、塞栓症、梗塞 | | | | |
| 12 | 先天異常: 奇形、染色体異常、遺伝子異常、胎児障害 | | | | |
| 13-15 | 腫瘍: 疫学、異型度、分化度、悪性度、良性腫瘍、悪性腫瘍、上皮性腫瘍、非上皮性腫瘍、混合腫瘍、がん腫、肉腫、 浸潤、転移、異形成、深達度、病期、腫瘍と宿主の関係、原因と発生のメカニズム | | | | |
| 教科書 | 人間病態学(病気の成り立ち) PDFファイル ステップアップ病理学ノート(サイオ出版) ステップアップ微生物学ノート 第2版(サイオ出版) | | | | |
| 参考図書等 | ルービン カラー基本病理学(西村書店) カラーで学べる病理学(ヌーヴェルヒロカワ) ビジュアル微生物学(ヌーヴェルヒロカワ) | | | | |
| 評価指標 | 定期試験の受験資格:履修登録をしている。授業回数の2/3以上出席している。 定期試験の結果 80% + 受講態度等 20% で評価する。 | | | | |
| 関連科目 | 解剖生理学、代謝と栄養、人間病態学演習Ⅰ、人間病態学演習Ⅱ、疾病障害論、薬理学、公衆衛生学 | | | | |
| 教員から学生へのメッセージ | 解剖生理学、代謝と栄養で学んだ基礎知識を身につけたうえで、授業に出席してください。 授業の予習、復習を行い、確実に知識を身につけて下さい。 | | | | |